



# 県民の森 だより 11月号

2017  
11月号

発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料  
利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

今年は天候不順で、夏を感じられなかった方々が多数おられたのではないのでしょうか。そんな事を感じている間に山々の紅葉も麓まで進み、園内でもようやく深緑色から黄色や赤色に色づき始めました。

園内の紅葉の進み方も場所によって微妙に違い、日々違った表情をしており、毎日がとても楽しい季節になりました。(所長：蜂谷仁)



みんなもかせにちゅういやみ!

## 閉園時間変更のお知らせ

11月1日～3月31日まで、閉館時間が30分繰り上がり16時となります。駐車場のご利用も16時までとなりますので、アスレチックをご利用の際など、お間違いのないようよろしくお願い致します。※常設クラフト体験コーナーの受付は15時30分までとなります。

## 石積埋立処分場の浸出水放流管埋設工事のお知らせ

泉松陵高校付近にて、下水管を埋める工事が行われております(平成30年3月15日まで)。工事車両が園内で作業を行っておりますので、現場誘導員の指示に従ってご通行下さいませようお願い致します。



## 今月のけんみんのもり写真館 スペース広め スタッフがみつけたしぜんのはとこま バージョン



イチョウ (イチョウ科)  
銀杏・公孫樹

古い時代に渡来し、寺社や街路樹に広く植栽されています。秋に黄葉します。イチョウはアントシアニン(赤色)を含んでいないため、赤くならず黄葉します。イチョウは「生きた化石」で、恐竜時代に栄えた原始的な裸子植物の針葉樹です。(駒野)



メグスリノキ (ムクロジ科)  
目薬木、チヨウジャノキ

名前は民間薬として樹皮を煎じて洗眼にもちいたことによります。最近肝臓の薬として葉や樹皮、木片を煎じて引用されているようです。カエデの仲間で秋のサーモンピンクの上品な紅葉が一番の見どころです。(駒野)

## 県民の森名木紹介 vol.36 ヤマウルシ

園内の紅葉は始まったとは言え、まだ緑がちな中で、いち早く色づくのがこのヤマウルシです。さわると「カブレ」などで敬遠されがちな木ですが、今は一見に値します。



写真は前号、1号幹線の四阿付近のものですが、幹径10センチ超とこの木としては大きい一本です。(工藤)



マユミ (ニシキギ科)  
真弓、檀

名前は真弓の意味、昔この材で弓を作ったことによります。果実はほぼ四角形のさく果で4裂、橙赤色に熟した仮種子に包まれた種子が顔を出し、垂れ下がっています。果実や紅葉が美しく見応えがあります。(駒野)



キリシマツツジ (ツツジ科)

九州の霧島山中に自生するヤマツツジから、選抜して改良されたとされる園芸種です。通常の花期は4～5月ですが、温暖化のせい、毎年この時期に狂い咲きしています。野外音楽堂周辺の紅葉と一緒に開花が楽しめるという、不思議な光景が見られます。(入岡)



イカル (アトリ科)

灰色の体に黄色いくちばしが特徴。ここのところ、記念館周辺でしきりにさえずる声が響いていました。どうやら繁殖期以外も一年中さえずっているようです。声は聞こえてくるものの、なかなか姿が確認できず、やっと撮れた一枚(すごく遠い(泣))。(入岡)



アカスジキンカメムシ (幼虫)  
(キンカメムシ科)

独特のにおいで嫌われ者のカメムシですが、前歯を出してにこっと笑ったような模様に愛嬌があります。写真は5齢幼虫で、この姿のまま冬越しし、来春羽化します。成虫は幼虫からは想像できないような、とても美しい緑色をしています。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「11月・12月のイベント情報」をご覧ください